

平成 30 年度岩手県中堅期保健師コンサルテーションについて【概要版】 岩手県看護協会

＝ 共に学びながら 地域保健活動を実践しよう!! ＝

1 目的

- (1)地域に潜在する健康課題を分析できる能力を高め、事業を展開するための実践力を向上する。
- (2)その成果を新たな政策課題として提示できる能力を強化する。
- (3)自組織において、中堅期保健師としての持てる力を組織で十分に発揮できるとともに、組織の活性化につながる働きかけやシステムの改善・提案・構築ができる能力の向上を図る。
- (4)共同で学び合うことを通して、保健師の専門性の経験知や保健師活動の真価を再認識することによりモチベーションの向上、保健師としてのアイデンティティの強化につなげる。

2 対象

保健所、県所属機関及び市町村の保健事業（介護予防事業含）に携わっている 概ね 10 年から 20 年程度の実務経験を有し、所属長の推薦を受けた保健師 定員 15 名（申込締切日は 6 月 10 日）

3 期間 全 6 回

前期：H30.7.25（水）・7.26（木）、 中期Ⅰ：8.30（木）、 中期Ⅱ：10.12（金）
後期Ⅰ：11.20（火）、後期Ⅱ：12.7（金）
時間：9：30～16：50（前後することがあります）

4 会場 岩手県看護研修センター（盛岡市緑が丘 2-4-55 電話 019-662-8213）

5 内容

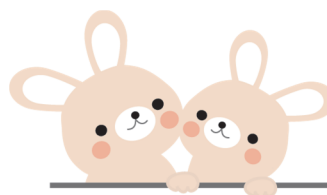
1) プログラムの特徴

- (1)テーマ設定：市町村は母子保健、生活習慣病予防、介護予防、精神保健の 4 テーマから選択、岩手県・保健所等は自由テーマとし、自組織における保健活動上の課題であり、実際に取り組むことができるもの 1 テーマを選択する。
- (2)プログラム：
 - ①グループ構成：グループ力動の効果もねらい 4～5 名程度の構成とする。
 - ②形式：講義形式にとどまらずグループワークを多く実施し、さらに、実践的に展開し、実践力を培うものとする。
- (3)コンサルタントの配置：1 グループに数名、保健師育成に適した実践者（コンサルタント）を配置し、専門的な観点から指導助言を行う。

2) 受講者の実施事項

- (1)事前課題
 - ・指定課題図書を読む。
 - ・自己の選択したテーマにおいて、これまでの実践とその結果について、(3)の①から③の視点で整理分析を行う。
 - ・整理分析結果をもとに課題の抽出と実践計画（試案）を策定する。
- (2)コンサルタントから指導助言を受けながら、実践計画（試案）を修正し、実践の見通しを立てる。
- (3)実践計画に基づいて以下の「能力強化のための実践」を自組織の仲間と共同で取り組む。
 - ①地域データ等の整理分析の精査
 - ②法的施策的情報整理
 - ③これまでの取り組み、関連保健事業の総括
 - ④対象者聞き取り訪問と事例検討
 - ⑤関係する機関、者への聞き取り訪問
 - ⑥組織的活動計画・実践

※コンサルタントから実践に伴う指導助言を受けながら、計画修正・実践・評価をする。
- (4)計画・実践・評価について、資料化し、それらをもとに発表・討議する。
- (5)組織での政策提言を行う。



詳しくは開催要領をご覧ください

※(1)から(5)まで、様式を用いながら、段階を踏んで進む、システム化された研修・実践となっています。
※グループワークによる学びあい・自組織での実践を重視する自律型の人材育成を目指しています。